

6月15日（水）

午後1時30分～3時30分

話題提供

明戸 隆浩 氏

(大阪公立大学大学院経済学研究科准教授)

大阪公立大学 人権問題研究センター  
共同研究室

オンラインと対面開催を予定しています。

対面定員 10名 ZOOM 定員 100名  
事前申込・先着順

無料

参加希望者は [otazune@rchr.osaka-cu.ac.jp](mailto:otazune@rchr.osaka-cu.ac.jp) に  
前日正午までにご連絡ください。

定員に達し次第締め切りとさせていただきます。

オンラインで参加ご希望の方には折り返し参加に必要な情報をお知らせします。お問い合わせはセンターまで **06-6605-2035**

日本とアメリカの文脈から

ヘイトクライム

ヘイトスピーチと

2021年8月に京都府宇治市のウトロ地区で起きた放火事件は、日本においてもマイノリティに対する差別的な憎悪を動機とする「ヘイトクライム」の土壌が確実に広まっていることを示しました。

また以前からこうしたヘイトクライムに対して積極的な法制度を整備してきたアメリカでも、2020年以降のコロナ禍の中で、アジア系住民に対するヘイトクライムが頻発しています。今回はこうしたヘイトクライムという社会的課題について、とくにこの10年ほどのあいだに日本でも広く知られるようになった「ヘイトスピーチ」との概念的な関係をふまえながら、ヘイトクライムが生じるメカニズムや今後必要な対応策などについて、話題を提供したいと思います。

【新型コロナウイルス感染予防対策のため、ご協力をお願いいたします。】

※発熱や風邪のような症状のある方につきましては、参加をお控えください。※かならずマスクの着用をお願いいたします。

※会場入口に消毒薬をご用意しておりますので、ご利用をお願いいたします。